

東日本ヤマハOB会

2021年度同好会申込み受付のご案内



現在、OB会では19の同好会活動が行われています。2020年度は、ご高承のようにコロナ感染の心配により、ほとんどの同好会が活動休止状態に追い込まれております。

しかし、2021年度に向けコロナ収束後の状況を鑑み、例年どおりに同好会の会員募集を行います。日頃会えない旧友との親睦を深める場、また新しい出会いの場として、更には同好の趣味を深めつつ楽しく健康維持・増進をする場として是非ご活用下さい。

同好会推進委員会

- ① 申込方法：**必ず同封の返信葉書にご記入の上**お申込み下さい。
- ② 申込期限：**2月15日(月)** 必着にてご投函下さい。(ハガキの裏面は、住所氏名を含め全てご記入下さい。必須)
- ③ **現在既に同好会にご入会済の方も、改めて毎年ごとに再登録が必要です。**
- ④ 複数の同好会に登録可能です。登録すると、その同好会より催事のご案内が届きます。
- ⑤ 「見学参加」「体験参加」歓迎です。
- ⑥ 同好会の活動は、東日本ヤマハOB会 ホームページでもご確認いただけます。

<http://yob-tyk.net>

アンサンブル



森 完次

囲碁



池尻 隆一

温泉旅行



黒川 晋三

絵画鑑賞



石崎 幸雄

カラオケ



木戸 正隆

健康ボウリング



木田 住男

健康麻雀



鈴木 博志

コーラス



門脇 修

ゴルフ



堀 昭博

酒文化探訪の会



永井 春夫

四季遊覧の会



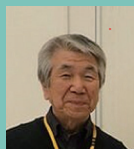
小島 邦雄

写真



輪湖 一男

将棋



小幡 健一

テニス



田仲 操

俳句の会



高瀬 俊次

バードウォッチング



洞口 亨

パソコン



藤寄 勅

寄席観賞



渡邊 範男

歴史探訪



小高 秀則

同好会と活動の紹介

アンサンブル

代表世話人：森 完次
世話人：小泉 安治・森島 文子
開催：月2回
第2、4水曜日



発足から20年を迎えます。メンバーは22名。平均年齢70代ですが、皆さん、元気に生き活きと活動しています。これだけ長く活動が続いて来たのは、私たちがアンサンブルの楽しさを大切にしているからでしょう。自分一人で楽器を演奏することも楽しいですが、仲間と音を合わせるアンサンブルには、格別な喜びがあります。音を合わせることは、気持ちを合わせる事です。

年を経て様々な経験をしてきたシニア同士だからこそ、生まれる響きがあります。あなたもそんな仲間に入りませんか？ ただいま、メンバー募集中です！

まだまだ初心者だからと遠慮していたり、今さら楽器演奏でもない距離をおかれている方。勿体ないですよ。楽しんで勝ちです。合宿で交流を深め、慰問演奏や定期演奏会で充実感や達成感を味わいましょう。

私たちのアンサンブルをバックにソロを演奏！ なんていう夢も実現できるかもしれませんよ。

囲碁

代表世話人：池尻 隆一
世話人：茂木 喜夫・内田 耕三
開催：毎月第3木曜日
会場：囲碁サロン天元・結
(中野坂上駅前)



「囲碁」はただの陣取りゲームですが、右脳の「勘ピューター」で石を置きながら左脳でソロバンを入れるという「脳」の活性化に役買っています。そして何よりも何歳になろうとも手の指が動く限り碁は打てるのです。

そして今年からは毎月の例会を碁会所に集合せずパソコンで「オンライン対局」も併用して出来るようになりました。

また囲碁のルールから教えてくれる教室もありますので全くの入門者も大歓迎です！

温泉旅行

代表世話人：黒川 晋三
世話人：柴田 友範・荒井 輝二郎
開 催：年 2 回
上期（春～夏）
下期（秋～冬）



温泉同好会 ノンシャッフル
旅先にかすかに利根富士が
2019.03.03

上期（春～夏）と下期（秋～冬）の年 2 回の旅行を実施しております。

普段 雑誌やTVなどで取り上げられ、行ってみたいな～と思いつつなかなか一人では行けない温泉地や、エ～っこんな参加費で行けるの！と云われるような少ない参加費で楽しめる温泉ツアーを狙っております。

普段話す機会の少ない旧友と移動の車中で、或は食事の時に一献傾けながら、或はのんびりと湯船に浸かって語り合い旧交を温める良い機会です。また、行き帰りの道中でその地方の伝統文化や名所旧跡巡り、或は観光で楽しめます。

写真撮影の好きな方にはシャッターチャンスがふんだんに、旅行好きな方には各地の観光がたまりません。温泉好きにとっては勿論です。是非 1 度参加して見ませんか。

健康ボウリング

代表世話人：木田 住男
世話人：小原 正・小高 秀則
開 催：毎月第 2 金曜日



昭和の懐かしいボウリングブームは、現在では遊び感覚のイメージがあります。しかし、シニア世代には嬉しい効果がたくさんあるのをご存知ですか？ シニア世代は加齢と共に筋肉が衰えてきているため、体幹も衰えて予期せぬ転倒でケガが心配されます。ボウリングは楽しみながら体幹を鍛えることが出来ます。さらに頭も使うのです。例えば 1 投目で残ったピンに対してスベアをどう投げるのか、レーンにオイルが塗られているレーンコンディションの状態を考えながら投げる等、また投球結果に一喜一憂することが脳に良い刺激となります。当同好会では、大人数でわいわい楽しんでいる方や、自身のスコアアップを目指している方等、楽しみ方もいろいろあります。是非、皆さんの参加をお待ちしております。

絵画鑑賞

代表世話人：石崎 幸雄
世話人：谷口 和之・柴山 美穂
開 催：年間 3 回程度
会 場：都内を中心とした美術館



1. 絵を見ることが好きな方はもちろん、絵に親しむのも良いと思う方、どなたにでも楽しめる会です。年に 3 回程度、美術館に出かけ絵画を鑑賞します。ときに近郊に出掛けることもあり、これまでは佐倉の DIC 川村記念美術館や横浜美術館を訪れました。その時々話題の展覧会の鑑賞会も開催してきました。
2. 展覧会により、美術館の学芸員などが作品解説をしてくれる「ギャラリートーク付きの鑑賞会」を開催します。新しい視点から絵画を深く理解でき楽しめるので会員に好評です。
3. 参加者一同、絵画に親しんだ後は楽しい懇親会です。先ほど感動した絵の話をしながら食べたり飲んだり、芸術に造詣の深い会員から興味のあるお話も聴けます。アルコールが回れば話題は絵から音楽・芸術へと拡がり、やがて在職時代の話へも。絵画鑑賞をお楽しみください。

健康麻雀

代表世話人：鈴木 博志
世話人：水野 雄一・舩谷 英彰
開 催：年 2 回



かつて麻雀は、パチンコ・競馬と並ぶサラリーマンが身を滅ぼす 3 大ギャンブルの 1 つと言われましたが、今や認知症予防の楽しい、知的脳トレ・ゲームとしてすっかりイメージチェンジしております。

当同好会も「お金を賭けない・タバコを吸わない」を大原則に、年 2 回、大熱戦を繰り広げております。ゲームを楽しみながら会話

も楽しみ、自然に仲間ができてコミュニケーションの輪も広がる…これこそが健康麻雀人気の秘密でしょう。奮っての参加・入会、お待ちしております！



カラオケ

代表世話人：木戸 正隆
世話人：堀 昭博・菊池 幹雄
開 催：毎月第 4 日曜日



例会は新橋の「カラオケ館」を会場とし、前半は課題曲のレッスン、後半は各人の持ち歌発表という内容で構成されています（合計約 3.5 時間）。例会後は近くの居酒屋で懇親会（自由参加）を行い、多くの方が参加されます。年末（12 月第 3 日曜日）はカラオケスナックを借り切った「カラオケパーティー」を行い、飲み、食べ、歌って楽しく盛り上がります。歌う曲目や歌い方など条件や制約は一切ありません。各人の披露曲もポップス、ナツメロ、ムード歌謡、演歌、外国語曲など多種・多様です。

参加される頻度は各人の都合で結構です。

女性会員も増加していて、毎月参加されて楽しんでおられます。「歌うことの好きな方」「歌を通じて仲間との語らいを楽しみたい方」はぜひお気軽にご参加下さい。体験参加も大歓迎です。

きっと素晴らしい歌や仲間との出会いが待っていますよ！

コーラス

代表世話人：門脇 修
世話人：安斎 眞治・森内 秀夫
柴山 美穂・松田 茂子
石井 ふみ子
練習：毎月第 2・第 4 木曜日
港区、目黒区などの施設



設立 2013 年 10 月、正式名称 ヤマハ OB 混声合唱団、練習は毎月第二、四木曜日、港区、目黒区の施設で実施しています。

5 月 総会での懇親会、12 月 財団懇親会、1 月 新春の集いで成果発表。

2018 年より 7 月に合唱フェスティバルに参加、外部団体との交流を通じて、レベルアップを目指しております。

森内秀夫さんの魂のこもった指導、ヤマハならではの編曲作品などに恵まれ、合唱を楽しむ喜びが倍増しています。お腹の底からの発声は、健康の素です。

体験、入会 いつでもお待ちしております。

OB 会 HP のコーラス同好会欄に、日程、会場が載っておりますので、ご参照下さい。

ゴルフ

代表世話人：堀 昭博

世話人：岩佐 憲明・横田 裕造
和田 昭二

開 催：年 2 回



ゴルフは今まで「紳士のスポーツ」といわれ、マナーやルールといった面からすこしとつきにくいスポーツと思われがちでした。しかし今では若い人から年配者、女性にいたるまで人気なのは、このゴルフのもつスポーツ精神こそが魅力となり、久しく楽しまれているのかもしれません。それからゴルフの楽しさには 3 つの要素があるといわれています。

- ① ゴルフ道具の楽しみ…ゴルフの楽しさは、その使う道具の豊富さにある。
- ② 自然を楽しむ…ゴルフは非日常の大自然の中に身を置くことができる。
- ③ 人間関係…親しい友人はもちろん、初顔合わせの人ともすぐにうちとけられる。

ゴルフに少しでも興味のある人、昔やったが今はやめている人、運動不足の人たち。世話人一同心よりお待ち申し上げます。

写 真

代表世話人：輪湖 一男

代表補佐：鈴木 裕幸

世話人：市村 幸雄・久保田 圭子
佐生 憲治

開 催：撮影会 年 2 回
勉強会 年 2 回



撮影会（年 2 回）は四季折々の被写体を求めて、草花や自然の景観、街の風景などを、外部講師が同行し、初心者でも構図の取り方やカメラの使い方の指導を受けながら、楽しく写真撮影ができます。勉強会（年 2 回）は第 1 部が講師による写真講座、第 2 部は参加者が持ち寄った撮影会作品を講師より一枚一枚講評して頂きます。そして第 3 部は、参加者の自由作品の全員による互選を行っています。女性会員も増え、新しい視点の作品も生まれて来ました。

また、スマホ、タブレットやコンパクトカメラの進歩で、誰でも良い写真が撮れるようになりました。

楽しい写真同好会にぜひお気軽にご参加下さい。又体験参加も歓迎です。ぜひ、一緒に写真を楽しみましょう。

酒文化探訪の会

代表世話人：永井 春夫

世話人：金森 康泰・熊谷 孝司
佐々木 仁・山田 知英子
小幡 健一（アドヴァイザー）

開 催：年 2 回（他、臨時例会有）



貝原益軒、その『養生訓』に曰く、「酒は天の美禄、という言葉あり。少し飲めば陽気を補助し、血気をやわらげ、食気をめぐらし、愁を取り去り、興を起こして大いに役立つ」と。しかしそのあと「でも飲み過ぎるといけませんよ」と続きます。このように「百薬の長」となるか「気違い水」となるかは、古来より人類と酒の永い歴史の中で、その事例に枚挙の暇がありません。

当会は、人類にとって「天使と悪魔」である「酒」といかに付き合うかをテーマに、「酒」が醸し出す様々な文化に触れ、研究を深め、味わい、より豊かな人生を過ごそうと誕生致しました。

新酒の季節の酒蔵や芳醇な味わいの秋のワイナリー訪問、時には陶房で酒器をつくり、時には蕎麦屋や居酒屋に集い呑み合うもよし、そう、やっぱり“酒は飲むべし百薬の長”！

将 棋

代表世話人：小幡 健一

世話人：岩崎 正至

開 催：年 2 回

2021 年 2 月・9 月の第三日曜日

会 場：御徒町将棋センター
03-3835-4987 JR 御徒町駅徒歩 1 分



将棋は古代インドのチャトランガというゲームが先祖で、チェスや将棋のルーツと言われています。日本では平安時代に 5 角形の将棋駒が既に存在し、後の八代将軍徳川吉宗が年に一度御城将棋を始めました。日本将棋連盟ではこの日< 11 月 17 日 >を【将棋の日】と定め各地で様々なイベントを企画しています。

将棋のルールはいたって簡単で、どなたでも気軽に楽しめるゲームです。昔やってたなーという方、これから将棋でもやってみようかーという方、是非一度覗いてみては如何でしょうか。

将棋センター内の個室を借り切ったの対局は仲間同士のみの落ち着いた雰囲気をご堪能頂けます。会員一同お待ちしております。

四季遊覧の会

代表世話人：小島 邦雄

世話人：金城 繁子・田中 彰
須田 昭孝

開 催：年 2 回
前期 5 ～ 9 月
後期 1 ～ 3 月



四季折々の自然に触れ、景色を楽しみまた少々歴史と懐かしさを感じる場所を探り、散策とおしゃべりそれと食事を楽しむという趣旨の会です。意外に近くにあり知ってはいるが行ったことがないという場所が結構あるものです。一人ではなかなか訪れる機会がないという場所を探し、季節を選んで実施しています。

今まで、水戸徳川家ゆかりの戸定邸、東京タワーからの都心の眺め、小石川後楽園の梅花見、目黒の自然教育園と雅叙園の百段階段、上野牡丹園と江戸時代から続く豆腐料理の食事、参加者の 9 割の方が初めてだった明治神宮外苑の聖徳記念絵画館と明治記念館、音楽博物館訪問等々毎回意外性のある企画で楽しんでいます。是非ご参加いただき一緒に楽しみましょう。

テ ニ ス

代表世話人：田仲 操

世話人：夏原 雄二郎・金森 康泰

例 会：年 6 ～ 7 回

会 場：野川公園（調布）
入船公園（鶴見）

合 宿：春・秋 2 回 / 年



“蝶のように舞う”のは、ヤマハテニスウェアの美しいコピーの話ですが、当会はサーブが打てる方なら、どなたでも大歓迎です。

84 歳から 66 歳のメンバーは、開放的で明るい性格で、月例会では、主内容のダブルスゲームを通して、楽しい会話が弾みます。合宿では美味しい料理や温泉、そして新緑や紅葉も満喫できます。

テニスの魅力は、ボールを打つ時の爽快感と、あまり季節に左右されず少人数でも、年齢相応に楽しめることです。

メリットは、足、腕、腰を柔軟に使うことで、全身を自然に鍛えることができ、ストレス発散の効果も得られます。

ゲームの醍醐味は、頭と身体を適切に使って、瞬時に判断しプレイすることです。シニアになる程、パワーに頼らない戦術が有効で、とてもシンプルで、いつまでも楽しめるスポーツです。

お気軽に是非、是非ご体験下さい。

会員一同お待ちしております。

ハイキング

代表世話人：

世話人：

開催：



ハイキング同好会のキーワードは「好奇心」です。ボケないためとか、一日の歩数管理を重ね足腰を弱らせないといった、伝統的な考えよりも、とにかく好奇心を持って歩いて行き着いてそれを満たす、をモットーにしています。どんな美味しいものに出会えたか、途中の風光や史跡・見どころが具体的にどうか、温泉の具合はどうだったか、歩きながらの会話が楽しかったか等が判断の基準になっております。行動範囲は市内公園130程の内、7haを超す440箇所、首都圏の神社仏閣を含めた名所旧跡といわれておる80箇所ほど。或いはこれらの組み合わせやハイキングコースと昔から人口に膾炙された山や溪谷、海辺など。さらには往復の行程を貸切バスに頼り、千葉・埼玉・茨城・群馬・神奈川・山梨等近隣の「らしい」場所の歩き探索です。どうぞ、名簿登録して頂き、好奇心を満たせそうなお気に入りコースの案内がありました時には一緒に歩きましょう。

休会中

俳句の会

代表世話人：高瀬 俊次

世話人：加茂好朗・伊藤美智子

開催：年4回

吟行・句会 春秋

句会のみ 夏冬



おや、今日は街の様子が何かいつもと違って見えるね。庭の花、今年もきれいに咲いたなあ。ああ旨い、夏はやっぱり生ビール！ 普段の生活の中には心の動くこんな一瞬がありますよね。後ろを振り向いたら、いつも上り下りする坂道に秋風が吹いていた。

ふり向けばいつもの坂に秋の風 あれ？

故郷の海、山、小川、祭笛。

ふるさとのうみやまおがわまつり笛 あれれ、これって俳句？

そう、俳句です。俳句は四季折々の自然や風物、日々の暮らしの中で感じる「ああ！」「えっ？」「うーむ」「おっ！」といった心の動く瞬間を十七文字（十七音）で表現する文学です。俳句はひとりでも楽しめます。家の中でも、散歩しながらでも、電車の中でも作ることができます。でも作った俳句を持ち寄って披露しあう「句会」や四季折々の風情を楽しみながら句を詠む「吟行」はもっともっと楽しめます。春夏秋冬の会からでも参加できますよ。

バードウォッチング

代表世話人：洞口 亨

世話人：長尾 浩和

開催：年2回

春5月 冬2月



野鳥と出会う 自然とふれあう 仲間とふれあえて、心なごむ「バードウォッチング」は誰でもが楽しめるレクリエーションです。専門的な知識や特別な道具などはいっさい必要ありません。いつでも、どこでも、だれでもが、気軽に始めることができます。自然の中で生きる野鳥に親しみ、身近な自然環境に関心を持つ仲間が一人でも増えればと思っています。



パソコン

代表世話人：藤寄 勲

世話人：田中 達也・後藤 正明

鴨井 次郎・三国 龍夫

開催：毎月第2水曜日



パソコン、ガラケー、スマホ、タブレット、デジカメに興味のある初歩・上級の方々が参加されている同好会です。 ◆定番メニューでは、旬なテーマを取り上げ世の中の動きをいち早くキャッチして話題提供する「トピックス」、 ◆ワードのワンポイント・アドバイスも目から鱗の毎回です。 ◆そのほかエクセル、メール、インターネット検索、写真の加工、掲載などが折々のテーマです。 ◆会場は新橋烏森から徒歩3分「新橋ばる〜んw」で午後1時半から2時間ほどです。また社会見学会、新会員歓迎会、忘年会も定期的に開き会員の親睦を深めております。最近のコロナ禍ではZOOMでの例会開催を試みています。

お気軽に体験参加お待ちしております。

寄席観賞

代表世話人：渡邊 範男

世話人：梅蔭 正・今 憲行

岸本 啓子・山田 知英子

開催：年2回（春・初冬）



ようこそのお運びを！

寄席とは、落語だけではなくありません。講談・漫才・漫談・俗曲・手品・曲芸など、バラエティーに富んだ多様な芸が一度に楽しめる処。開催寄席は、国立演芸場（原則）。適時、番外編の演芸場開催も予定しております。

構成は、一部「寄席観賞」、二部は「楽語会」（一献処で楽しく語る）。当同好会は、参加しやすい

① 土曜日開催（原則！）

② 一部寄席観賞のみ参加OK

③ 会員のお連れ合い同伴歓迎

江戸の風に吹かれる「粋な同好会」、ご来場お待ちしております。

歴史探訪

代表世話人：小高 秀則

世話人：依田 美弥子・佐生 憲治

開催：年2回

春期 秋期



東京都内や近郊に今なお多く残る江戸の面影を追って、春と秋の年2回探訪の会を開催しております。これまでに、江戸東京博物館、皇居東御苑、小江戸川越散策、国立小劇場文楽鑑賞、神田川船の会、木場の角乗り見学、神田明神での芸者と幫間芸観賞等を行ってまいりました。毎回、多くの皆様にご参加頂きご好評を頂いております。今年度も春と秋に計画をしておりますので、より多くの皆様のご入会をお待ちしております。

写真：第八回秋の会

神田明神 六花街の芸者衆の踊りと幫間芸を楽しむ